

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【公開番号】特開2005-236867(P2005-236867A)

【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2004-46288(P2004-46288)

【国際特許分類】

H 04 L 27/38 (2006.01)

H 03 M 1/12 (2006.01)

H 04 B 1/26 (2006.01)

H 04 L 27/22 (2006.01)

【F I】

H 04 L 27/00 G

H 03 M 1/12 C

H 04 B 1/26 H

H 04 L 27/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月24日(2006.1.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

前記有効ビット選択手段は、

前記A/D変換手段から出力される符号ビットと前記A/D変換手段から出力される数値ビットの中で最上位ビットを含んだM(Mは任意の自然数)個の連続した数値ビットとを有効ビットとして選択し、前記数値ビットの数Mの変更で有効ビットの数を変更することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の受信装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

さらに、受信信号の電力レベルを検出する受信電力レベル検出手段を備え、

検出した前記受信電力レベルが大きくなるに従って、前記数値ビットの数Mを小さくすることを特徴とする請求項4に記載の受信装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

さらに、受信信号の搬送波対雑音電力比(C/N)を取得するC/N取得手段を備え、前記C/Nが大きくなるに従って、前記数値ビットの数Mを小さくすることを特徴とする請求項4に記載の受信装置。

**【手続補正4】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**請求項7**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【請求項7】**

前記受信信号は、初期同期用のプリアンブル部と、データを伝送用のペイロード部と、前記ペイロード部の復調に係わるペイロード部復調用情報を含むヘッダ部と、を含むパケット信号であり、

さらに、前記ペイロード部復調用情報を解析するためのヘッダ部分解析手段を備え、

前記有効ビット選択手段は、前記ペイロード部復調用情報を基に、前記数値ビットの数Mを選択することを特徴とする請求項4に記載の受信装置。

**【手続補正5】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**請求項10**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【請求項10】**

前記プリアンブル部の復調に用いる数値ビットの数Mが、同一のパケット内において、任意の値で固定されていることを特徴とする請求項7に記載の受信装置。

**【手続補正6】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**請求項16**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【請求項16】**

さらに、受信信号の搬送波対雑音電力比(C/N)を取得するC/N取得ステップを有し、

前記C/Nが大きくなるに従って、前記数値ビットの数Mを小さくすることを特徴とする請求項14に記載の受信方法。

**【手続補正7】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**請求項17**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【請求項17】**

受信信号が、初期同期用のプリアンブル部と、データを伝送用のペイロード部と、前記ペイロード部の復調に係わるペイロード部復調用情報を含むヘッダ部と、を含むパケット信号である場合、

さらに、前記ペイロード部復調用情報を解析するためのヘッダ部分解析ステップを有し、

前記有効ビット選択ステップでは、前記ペイロード部復調用情報を基に、前記数値ビットの数Mを選択することを特徴とする請求項14に記載の受信方法。

**【手続補正8】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0018**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0018】**

さらに、受信信号の搬送波対雑音電力比(C/N)を取得するC/N取得手段を備え、

前記 C / N が大きくなるに従って、前記数値ビットの数 M を小さくすることがより好ましい。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

さらに、受信信号の搬送波対雑音電力比 ( C / N ) を取得する C / N 取得ステップを有し、前記 C / N が大きくなるに従って、前記数値ビットの数 M を小さくすることがより好ましい。